

# 「あすなろ」便り

No.97

2014.3.1

発行：あすなろ

TEL:046-254-2005



## ドキュメンタリー映画上映会

2月2日ハーモニーホール座間小ホールで、不登校・ひきこもり居場所あすなろと座間市青少年課青少年相談室の主催でドキュメンタリー映画「さなぎ～学校に行きたくない～」上映会を実施し 予定していた150名を超える観客の方々が鑑賞して下さいました。

主人公の愛ちゃんが小学校1年から3年生の頃不登校となり、家族や仲良しのお友達や豊かな自然に囲まれて成長していく姿や、お母さんの心の軌跡をドキュメントした三浦監督は静かにそのままを、結論を求めず映し出していました。そして大学生となった愛ちゃんはその頃の気持ちを冷静にふりかえり、自分が意識していた「不登校」について友達は全く意識していなかったと聞いて気持ちが楽になったと言っていました。

不登校だった時の自分を振り返る事ができた愛ちゃんは、精神的にも不登校を乗り越えたのかもしれませんが、この映画のタイトルの「さなぎ」は三浦監督がおっしゃっていましたが、昆虫はさなぎになった時、その中ではどろどろとした混然とした状態になり、そして時期がくると美しい成虫となって飛び立っていくそうです。不登校の時期は丁度このさなぎのような状態であり成長していくための必要な時期だったのでしょ。

上映会の様子だけでは、豊かな自然が映し出されその中で友達と戯れる愛ちゃんの姿に、不登校の問題がはっきりしないように感じた観客の方もいらっやったようですが、上映後の三浦監督のトークを聞いて納得した方もおられたようです。三浦さんも学齢期の頃、学校に行きたくない時期があり運動会のかけこはとくに厭だった事などのお話がありました。

この映画の愛ちゃんについて、これからの人生まだまだいろいろ乗り越えなければならない壁があるかもしれないが、不登校だった時のことが彼女にとっていい経験になるのではないかとということでした。



## ある活動日の1日

大雪で一週間のお休みがあけた2月25日二人の小学生の参加がありました。あすなろの家の周りにはまだ沢山の雪が残っていました。雪わりの提案に、腰が痛いと言いながらも快く引き受けて、上手にシャベルを使い雪を砕いていきます。そのうちにかまくらを作ろうと言うことに、二人の意見が一致したらしく、雪を集め始めました。集めなくても裏の方に沢山有るよの一声に、ノリノリです。裏口の雪を除き積み直したり、あれこれアイデアをふたりで出しあい、協力しながらつくり上げました。入口には、きれいな飾り付けまでそえて出来上がりです。

そんなときに又新しい二人のお友達の来訪があり、一気に賑やかに、皆溶け込んで一緒に記念撮影です。この日は午後から、近くのコミュニティセンターで卓球もありました。ここでも上級生が上手く、初めて参加した一年生を引っ張り、楽しんでいたのには関心させられました。あすなろの家に戻ったら今度は次回の予定を皆に提案して準備、計画作りです。

今日の子供たちは皆楽しそうで、スタッフもニッコリでした。

